



Sho Takemitsu Office

-Enjoy your life as you like.-

【「英たの」メルマガ】

「英たの」実践のための 50 のメッセージ

Vol.3

No.101 ~ No.150

著者：竹満 祥

【「英たの」メルマガ】
「英たの」実践のための 50 のメッセージ
Vol.3
No.101 ~ No.150

目 次

【著者プロフィール】

【「英たの」五箇条】

- No.101 【「やりたい・好き」を突きつめる。】
- No.102 【車の例え。】
- No.103 【欠点だらけ。でも、それでいい。】
- No.104 【健康のためなら死んでもいい。】
- No.105 【「食べる＝吸収される」！？】
- No.106 【クスリ食い。】
- No.107 【効能主義。】
- No.108 【フードファディズム。】
- No.109 【錠剤化。】
- No.110 【面白いに、限界はない。】
- No.111 【踊りながら上手になる。】
- No.112 【ボールは友だち。】
- No.113 【すべては好み。】
- No.114 【幸せの条件。】
- No.115 【2 軍と育成枠。】
- No.116 【『小説作法』よりモーパッサン。】
- No.117 【高性能人力車。】
- No.118 【鑑賞に堪えうる。】
- No.119 【エスカレーターを逆走。】
- No.120 【どっちのわかり方が本当でしょう？】
- No.121 【料理は寛容。】
- No.122 【予想屋。】
- No.123 【野球と英語と人生論。】
- No.124 【筋肉痛。】
- No.125 【アウトプットの質を高める。】

- No.126 【おいしいと感じるものを食べる。】
- No.127 【いたずらに燃えない。】
- No.128 【哲学書を読む権利。】
- No.129 【"bank"の意味を知っていますか？】
- No.130 【がんばらないを応援する。】
- No.131 【山登り。】
- No.132 【恩恵を受ける。】
- No.133 【「速さ」と「深さ」。】
- No.134 【「パワー」と「気」。】
- No.135 【不必要な努力をしない。】
- No.136 【三層ピラミッド。】
- No.137 【筋違い。】
- No.138 【牛歩の歩み。】
- No.139 【「束縛」と「自由」。】
- No.140 【老け込む。】
- No.141 【比例関係。】
- No.142 【わかったつもり。】
- No.143 【伝説の打撃コーチ。】
- No.144 【野村監督と仰木監督。】
- No.145 【魚より釣竿。】
- No.146 【大半はいますぐできる。】
- No.147 【「勉強法」は「体験記」にすぎない。】
- No.148 【楽なことは楽しくない。】
- No.149 【体験 + α 。】
- No.150 【人造人間 19号・20号。】

【著者プロフィール】

竹満 祥/Sho Takemitsu

1980年、鹿児島県生まれの大阪府育ち。

2002年に立命館大学文学部文学科英米文学専攻を卒業後、1年間の英国留学。

2006年に関西学院大学大学院言語コミュニケーション文化研究科博士課程前期課程を修了(言語教育学修士)し、東洋アルミニウム株式会社に勤務。

2008年独立し、竹満祥事務所を設立(京都市)。

【「英たの」五箇条】

第一箇条:「楽しいから身につく。好きだから身につく」

「楽しいこと」「好きなこと」に対して人はすてきなほどエネルギーが湧きます。
そのキラキラエネルギーを大切にしよう。

第二箇条:「やり方にこだわらない」

方法は先生が決めるのでも、教材が決めるのでもない。
最良の方法は常にあなたの中にある。
誰が何と言おうとも、あなたはあなたのやり方でやろう。

第三箇条:「学ぶのではなく感じる」

英語は勉強じゃない。
暗記するのではなく、感じてみよう。
「ここでこの単語を使うのかあ」
「この表現はおもしろいなあ」
もっと感じるままに英語と向き合おう。

第四箇条:「評価しない。競わない」

あなたは何のために英語を身につけたいのですか。
英語試験の結果を自慢したいだけなら、もっと他の楽しいことをしよう。
世の中は楽しいことであふれているから。

第五箇条:「強制しない」

あなたにはあなたのやり方がある。
それがすばらしい。
それはあなたの宝物。
だからといって、それが他の人にとってもすばらしいとは限らない。
共有するのはすばらしい。
けれど、強制はやめよう。

No.101 【「やりたい・好き」を突きつめる。】

「英たの」では、好きにこだわります。

好きにこだわるから、生の英語をどんどん吸収していくことができます。

それでは、「好き」とはどういうことでしょうか。

「英語が好き」というだけでは、あいまいです。

「英語が好きで、英語学の研究をしています」という人は、「英語が好き」と言えます。

けれども、「英語そのものが好きであとは何もいない」という人は少数です。

「英語でこれをするのが好き」「英語でこれができるようになりたい」というのが根底にあるはずで
す。

それを突きつめていくのが、「英たの」です。

洋書が読みたいのなら、どのジャンルの本が読みたい、というのがあるはずです。

英語で本を読みたいと思っても、興味のない本は読みたくありません。

映画でもそうです。

「映画を字幕なしで楽しみたい」と言いながら、興味のない映画を観ても楽しくありません。

英語学の研究が大好きな人が、文法の勉強をすることは、楽しいことです。

けれども、洋書を読んだり、洋画を楽しみたい人にとっては、文法の勉強は関係ありません。

やりたいことや好きなことをどんどん突きつめていける人が、英語を身につけることができます。

【「英たの」実践のために(101)】

英語の中での「好き・嫌い」をはっきりさせよう。

【発行】

竹満祥事務所

【竹満祥事務所 HP】

<http://www.good-sheep.com/>

【「英たの」HP】

<http://www.eitano.com/>

【「すきだけ」日記】

http://blog.livedoor.jp/good_sheep/

【「すき本」日記】

http://blog.livedoor.jp/sheep_book/

【「英たの」メルマガ】

<http://www.mag2.com/m/0000269908.html>